

## 中山さん(韓国ビジネス研修)



日韓関係の情勢が悪化している最中に開催された今回の韓国ビジネス研修となりました。参加者の多くは私も含め不安感があったことと思います。その中でも感じたのが政治面以外での日韓の一般人同士の関わり方、韓国文化の歴史、韓国企業の世界における重要度でした。

今回訪問したのは世界的電子メーカーであるサムスン電子と化粧品メーカーのアモレパシフィック、世界の物流を担う釜山新港でした。特に私が感動したのは釜山新港です。訪れてからの第一印象は、規格外のその大きさでした。コンテナが何列にも立ち並び、港付近には見たことのないサイズの船が停泊していました。その面積は日本にある京浜港、名古屋港、阪神港を足して敵わない広さだそうです。そこでは本来関係者のみが入れるエリアにも入れてもらうことができました。物流は私たちの生活にも間接的に関わってくるものだと思うので、その規模の大きさに感動しました。

そして大田では建陽大学の学生と2日間、釜山では東西大学の学生と1日の交流をしました。韓国の学生達は我々を温かく迎え入れてくれました。最初は少し緊張していたのもあり、みんな固くなっていましたが、国籍は違えど同年代の若者であることに違いはないので、すぐに打ち解けることができました。

彼らの中には日本の音楽や文化に関心が高い人も多く、日本語で会話ができる人までいたので、すごく助かりました。逆に我々の中にも韓国の音楽、文化に興味がある人が多くいたので、様々な情報交換をしました。大田では一緒に食事をしたり、ボーリング、公園でピクニック、ショッピングなどをして、とても有意義で楽しい時間を過ごせました。釜山では時間は短かったものの観光名所を巡ったり、食事をしたりして過ごしました。このように海外の学生との交流ができるのも大学内の研修ならではの経験なので、とても貴重で得がたい経験が出来ました。

今回の韓国ビジネス研修を通して、韓国企業の事を詳しく知ることができ、文化体験や学生交流を行う貴重な経験ができたと思います。初開催且つ日韓の情勢が悪化している中で慌ただしかったところもありましたが、来年も開催されるのであれば、興味がある学生は参加してほしいと思います。